

福島第一原子力発電所の状況

2015年12月7日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/7 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.4 m ³ /h	20.5 °C	0.4 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h			B系： —* vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	25.4 °C	3.50 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	24.0 °C	0.26 kPa g	A系： 0.08 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.01 vol%

* 作業に伴いデータ欠測

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/7 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.6 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	18.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.2 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	11.5 °C

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/7 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- 2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/12/4 8:21頃、所内電源設備の予備変電所電源設備において過負荷トリップを示す警報が発生。プラントの主要パラメータおよびモニタリングポスト指示値に有意な変動は確認されていない。なお、当該電源設備には、プラント安定化のための主要設備負荷は、接続されていない。現場を確認したところ、予備変電所電源設備のうち、構内配電線に電源を供給している遮断器が「切」位置(過負荷トリップ)になっていることを確認。また、昨日 23:00頃に行った構内配電線への電源供給を、予備変電所電源設備から別の電源系へ切り替える操作の際に、誤って別の構内配電線の開閉器を「切」位置にしていたことがわかった。
その後の調査で、予備変電所電源設備が過負荷トリップした原因は、本来「切」位置とすべき

構内配電線の開閉器が「入」位置となっていたため、予備変電所電源設備と別の電源が並列に接続された状態となり、その後に作業等で構内配電線の負荷が増大して過電流となったことで予備変電所電源設備の当該遮断器が「切」位置(過負荷トリップ)となったことが判明。

本件は設備故障によるものではないことや、現場確認においても当該電源設備に異常が確認されなかったことから、誤って「切」位置とした構内配電線の開閉器について、12/4 19:26 に復旧操作(電源「入」操作)を実施。復旧操作後において、電源設備および接続されている各設備に異常なし。

引き続き、誤って電源切り替えを行った経緯について調査を実施。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

・2015/3/16 1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。

5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 11/24]は同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/4 10:27～16:00 に海洋への排水を実施。排水量は811 m³
- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 11月26日]については同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/5 9:58～15:00 に海洋へ排水を実施。排水量は734 m³。
- ・一時貯水タンクAの当社および第三者機関による分析結果[採取日 11/28]は同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/8 に海洋へ排水予定。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

＜最新のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

＜K排水路排水口のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

＜H4エリア周辺のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜H6エリア周辺のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- 12/4 採取した護岸地下水の分析結果のうち、地下水観測孔No.2-6 のセシウム 137 について、前回値(12/2 採取)1.4Bq/L に対し 420 Bq/L に上昇していること、およびセシウム 134 について、前回値(12/2 採取)0.54 Bq/L に対し 96 Bq/L に上昇していることを確認。また、全ベータの値についても、前回値(12/2 採取)92 Bq/L に対し 1,200 Bq/L に上昇していることを確認。
12/3 に採取した当該観測孔周辺の2~3号機間の護岸やその他の観測孔における分析値、および12/4 に採取した港湾内の分析結果については、前回と比較して有意な変動はないことを確認。
今回の上昇については、新たな汚染水の流入によるものではなく、採取等の過程における放射性物質の混入も考えられることから、12/5、再度当該観測孔の水を採取・分析。その結果、セシウム 134 が 0.37 Bq/L、セシウム 137 が 0.96 Bq/L、全ベータが 130 Bq/L であり、過去の変動範囲内に低下していることを確認。
その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。
- 12/6 採取した海水の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上